



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

Vol.11
5
2011.



福田 一良 ガバナー事務所

〒371-0026

群馬県前橋市大手町 1-11-3

TEL 027-243-2840

FAX 027-220-5183

E-mail fukuda@rid2840.jp

ホームページアドレス

<http://www.rid2840.jp>



新緑（谷川東面旧道にて）photographer 前橋西ロータリークラブ 高山 信夫

お知らせ

只今ホームページに掲載中です 詳細はホームページをご覧ください

<http://www.rid2840.jp>

国際ロータリー第2840地区 2010-2011年度

インターアクト海外研修報告

2010-2011年度 インターアクト委員会 委員長 田部井 敏弘

上記報告書はホームページ上の「報告・トピックス」の「委員会報告」に掲載しますのでこちらのサイトをご覧ください。

前橋プロバスクラブ

楽しい民謡音楽会のご案内

民謡・尺八の鈴雲会と子雲雀会が唄う民謡コンサート

会長 小林 茂利

上記ご案内はホームページ上の「事務所からのお知らせ」に掲載しますのでこちらのサイトをご覧ください。

CONTENTS

表紙/お知らせ	1
2010-2011年度ガバナーメッセージ 福田 一良	2-3
地区幹事だより	4
ガバナー会への提言-1	5
ガバナー会への提言-2	6-7
ガバナー会への提言-3	8
ガバナー会への提言-4	9
阪神淡路大震災復旧・復興活動報告(参考資料)	10-14

ニュージーランド義援金報告書	15
東日本大震災義援金報告書	16
東日本大震災と青少年交換	17-19
楽しい民謡音楽会のご案内	20
新入会員紹介/訃報	21
地区主要三ヶ月行事一覧/安藤年度主要行事一覧	22
ロータリー文庫	23
出席報告	24



ガバナーメッセージ

東日本大震災について “がんばろう、ロータリー”



国際ロータリー第2840地区
2010-2011年度

ガバナー 福田 一良



2010-2011年度
国際ロータリーのテーマ

連日、メディアが伝える「東日本大震災」の惨禍の様子を見ている皆さん、どなたも自分にできることは何かを自問し、行動に移された方も多いと存じます。

今まで誰も見たことも、聞いたことも、感じたこともない事態にどう対応したらよいのか。

当面被災された方々への支援(救援)に尽くすことであります。

考えられる支援には「送る」と「行く」がありますが、「安全なところにいる」私たちにできることは、思いを義援金に託すこと(「送る」)です。

当件については3月16日付で、ガバナー会の依頼に地区より「義援金のお願い」をしております。よろしくご協力をお願いいたします。

次に「行く」ですが、一部の専門家による医療・土木建築などの技術提供を除き、我々にできることはボランティア(勤労奉仕)ですが、被災地で活動するには、現地の状況を正しく知る力と体力に自信があるか、そして経験の少ない人が有効な活動ができるのか、難しさがあります。

「安全なところにいる」我々は自治体、NPOなどと連携して「後方支援」に力を傾注することも一考かと考えます。

具体的には集団疎開に対し、人々に「衣食住」を支えたり、病院や福祉施設で世話をすることも大切であろうと考えます。

さて前段の義援金が「ロータリーの支援活動」としてどのような有効な活用があるのだろうか。その問いに各クラブより数多くの貴重なご意見をいただき、今後の支援活動のために大いに参考にさせていただきます。当地区として義援金の使途方法、プロジェクトの内容、義援への取り組みの継続性等について討議するため「東日本被災復興対策委員会」(仮称)を新たに地区組織に組入れました。国内 34 地区のガバナーで構成されているガバナー会は日本復興と力強い再生、そして被災者を救済のためにロータリーだからこそ出来る中・長期的な支援プログラムを作成し、一日でも早く実施すべく4月11日緊急ガバナー会が開催され、「東日本大震災支援検討委員会」を立ち上げました。その席で配布された資料の一部を月信に掲載致します。

尚、地区内クラブよりの通信文は別便にて送付致します。

今後とも地区ロータリアンの皆様には絶大なご協力をお願い申し上げます。

2010-2011 年度 東日本被災復興対策委員会メンバー

役 職	氏 名	クラブ名
東日本被災復興対策委員・ガバナー	福 田 一 良	前橋西
東日本被災復興対策委員長・パストガバナー	曾 我 隆 一	前 橋
東日本被災復興対策委員・パストガバナー	森 田 均	渋 川
東日本被災復興対策委員・パストガバナー	横 山 公 一	沼 田
東日本被災復興対策委員・直前ガバナー	牛久保 哲男	伊勢崎
東日本被災復興対策委員・ガバナーエレクト	安藤 震太郎	高崎北
東日本被災復興対策委員・ガバナーノミニー	疋 田 博 之	桐 生
東日本被災復興対策委員・地区幹事	町 田 庄 吉	前橋西
東日本被災復興対策委員・地区幹事	島 津 文 弘	高崎北
東日本被災復興対策委員・次年度副幹事	室 賀 康 志	高崎北



地区幹事だより

2840地区の意見

国際ロータリー第2840地区 2010～2011年度

ガバナー 福田 一良

幹事 町田 庄吉

会員の皆様には、平素から地区にご協力を頂きましてありがとうございます。

ニュージーランドの地震に続き、東日本の被災に対しましては、各ロータリークラブ独自の支援、地区には沢山の義援金とご意見を頂きました。皆様のご意見、ご提案をキーワードで要約いたしました。地区の第2回東日本被災復興委員会の参考にさせていただきます。

東日本被災支援 47RC 意見要約

1. 義援金、支援金を送る

- ・ インターアクトとの合同街頭募金 日本赤十字社に一括される方法ではなく
- ・ 地区事務所へ
- ・ 行政(県・市)へ
- ・ その他の支援ボランティアセンターへ
- ・ 当地区受入の避難者に直接渡す
- ・ 同胞ロータリアンの生活復興支援に

2. 震災孤児となった子ども達への支援

- ・ 支援金
- ・ 里親

3. 被災地域からの要望の物資を直接提供する

4. 第2840地区、行政避難者の長期化に対して利便性を充実させる直接支援

5. 被災者の皆様に仕事を与える

- ・ 瓦礫の片付け
- ・ 仮設住宅の建設等

6. 日本経済を復興させる為、過度の「自粛」には配慮



震災特集

ガバナー会への提言-1

国際ロータリー第2500地区

パストガバナー 小野 哲
(紋別港ロータリークラブ)

ロータリーの奉仕哲学のもと、今年度の各種事業を積極的に実施し、大きな効果を上げて居られることに、深い敬意を表します。

今回の国難である「東日本大震災」に対し、日本のロータリーが如何に対応すべきか、それは今後のロータリーの命運を決める課題だと考えます。この時に当たり、ロータリーが積極的な行動を取らなければ、日本のロータリーに明日はないと危惧致します。

国内 34 地区、約 9 万人のロータリアンは、それぞれの地域、職域でリーダー的な立場で居られ、その言行は強い影響力を持ちます。1921 年、東京ロータリーが誕生して以来、日本のロータリーはそれを心に秘めながら、ロータリー哲学のもと奉仕の実践を行って参りました。

今回の世界最大級の大災害に対し、世界各国からの慈悲の心と共に大きな支援が寄せられ、国民は「がんばれ日本」のもと、一人一人が「自分に何が出来るか」をテーマに、日本人の誇りを持ち、自発的に感動的な奉仕を行って居ります。

この時に当たり私たちロータリアンは、日本復興、被災者救済のために、ロータリーだからこそ出来る長期的な支援プロジェクトを実施すべきと考えます。「Service Above Self」は、自己の痛みを覚悟しながらの、高い次元の奉仕を呼びかけて居ります。

例えば、ロータリアンが年間 1 万円以上の基金を拠出すれば、年間 10 億円以上になり、これを 10 年間続ければ、およそ 100 億円の基金が出来ます。これを資源に、長期的展望に立ったプロジェクトを実施すれば、未来につながる事業が可能になるでしょう。

このための「東日本大震災に関する日本ロータリー支援基金」の委員会設立を提案いたします。各地区から再任を妨げない委員、年度のガバナーの中から数名(大きくブロック分けし)等を選出し、委員会を設立。資金の用途を協議するのです。

以上、現在ロータリー財団管理委員会が実施している災害復興基金とは別に、支援プロジェクトを実施すべきと考え提案いたします。今後長期に渡って呼び掛ける現金寄付は、この委員会が管理し、ロータリーの英知を集結したプログラムを展開すべきと考えます。

以上、“今こそロータリー”の願いを込めて、提案致します。準備委員会等設置し、真剣に御検討されることを切望致します。



震災特集

ガバナー会への提言-2

国際ロータリー第2560地区

鈴木 重彦

(長岡ロータリークラブ)

今回の地震は規模の大きさに加え大津波の被害など、被災度のレベルが違いすぎますが「東北関東大震災」に関して取り急ぎ御参考までにレポートをお送りいたします。

東北関東大震災は M9 が示すように、かつて経験のないスーパー大災害になってしまいました。おそらく復興には半世紀以上の時間がかかる一大惨事だと考えます。我が国の将来にとっても、今までの経験で解決出来ない、とてつもなく重く、大きな問題が今後発生すると考えられます。

我々の活動も、まさにロータリーの真価が問われることになります。

中越震災当時、「ロータリーが単独支援なんかやっていたら大変だ。それよりも知事が仮設住宅不足を言っているのだから義捐金はそっくり渡してしまえばそれで済むんだ」という強硬意見もありましたが、「それは行政が責任を持ってやらねばならないこと、ロータリーのやるべきことではありません」と言って、頑として拒否した事を思い出しました。義捐金の一部をロータリーハウスとして残せたことは、その後の地域防災システムの構築やボランティアの養成など様々な活動拠点として利用され、ロータリーに対する大きな評価につながっている現実を考えれば、よかったと思っています。

当時、「我々ロータリーは行政の手足にされるような支援ではない」という思いで、以下の5項目を掲げました。

1. 中越震災時の災害対策本部基本姿勢

- 一、ロータリーとして独自の組織をもって支援する。
- 一、被災地行政と連携をとりながらも支援の手薄な処を手厚く。
- 一、ロータリーの組織力を最大限に生かした活動。
- 一、今後の地域防災システム構築の規範となれ。
- 一、活動規範はロータリー四つのテストにあり。

2. 災对本部組織図 添付資料を参照してください。(月信5月号には添付資料掲載しておりません)

3. 今後の対応手順(私見)

被災初動期・・・被災進行中であって対応は行政機関の任務。

※要請が無い限り、あわてて支援物資の輸送などはしない・・・「小さな親切大きな迷惑」現場の迷惑となるケースが多いので、行政災害対策本部など公的機関との意志疎通が大切。

※怪しい支援要請、一時的感情による要請などに注意。公正かつロータリー的な建設的支援ができるシステムが必要となります。

- ① 被災状況の掌握(同時にロータリーメンバー、支援留学生などの安全確認)
場合によっては、緊急支援が必要な場合もあります。(精神的ケアも大切)
- ② ガバナー会に於いて、ガバナー間の強力な連携力と指揮権の発動が可能な組織の立ち上げが必要だと考えます。ガバナー会においては個々のガバナーの考えが様々で調整が大変だと思いますが、今後の指針となるような国際的視野で考える必要があります。
- ③ 地区内ロータリアンへの支援意識の醸成と義捐金の確保。
今回に関しては、1回の支援で終わるようなものではないと予想されますのでその対応を考える必要があると思います。
- ④ 復旧支援期に向けて、災害の進行状況と段階ごとの支援体制づくり。
 - ・ ロータリーの単年度システムでは満足な対応は不可能です。思い切った継続支援が可能な組織づくりがポイントとなります。
 - ・ 行政・ロータリー・ライオンズ・ソプロチミスト・JC・ボーイスカウト・ガールスカウトなどの既存団体と連携した組織運営は効果があります。
 - ・ 諸外国との連携は今回の震災に限らず、今後の事態変化に対応するためにも必要と考えます。

復興支援期・・・震災発生後おおむね 1 カ月以内

※ロータリーの支援が本格的に開始される時期となります。

※今回の被災地域は広範、ガバナー間の意志疎通が大事。

ここで問題となることは、義捐金の使途です。政府が支援する期間は政府や地方行政が責任を持って対応していただく必要があります。ロータリーは行政が手当てする復興基金をはじめとする諸支援制度に当てはまらず困窮する事柄を中心とした支援に力を注ぐべきと考えます。

(進学費用・就学費用・父子、母子家庭への支援・海外からの留学生への支援など多義に亘ると思います。)

- ①被災現場からの要請によっては、医療・輸送などの直接支援をロータリーとして組織することも必要。
- ②支援体制を数年にわたって行える組織づくりとその運用も同時進行。
- ③職業奉仕に直結する、ロータリアン企業への側面支援。
- ④復興支援活動を行う市民団体への支援。
- ⑤被災地個々のクラブにおける、五大奉仕に係る諸問題ケア。など

これからの具体的対応のためには、これまでの常識や慣習にとらわれない決断とスピードが大切だと思います。

これは、災害との戦争と行ってよい大事件です。全国から支援いただいた第 2560 地区としては特別の思いで支援すべきと考えます。被災地の復興の参考になれば幸いに存じます。



震災特集

ガバナー会への提言-3

RID 2560地区

RID 2560 地区からの提案

今後のロータリークラブの義援金の使途に関してですが、ご参考までに中越地震の復興の特徴として中間支援組織が有効に機能したことがあげられます。

ご存知のとおり、私ども中越復興市民会議が立ち上がり、被災地の中で、被災地に寄り添うかたちで被災地の生のニーズを探り、それを行政機関や様々な支援者（研究者・学会・大学等）につないできました。震災当初のこのような動きが、現在の中山間地コミュニティの活発な復興活動につながっております。

今回の震災の復興においても間違いなく中間支援組織の役割が重要であると考えております。この中間支援組織は、既存の被災地内のNPO等が役割を果たす場合もあろうかと思ひますし、新しい中間支援組織を新たに立ち上げていく場合もあろうかと思ひます。

いずれにしても、この立ち上げや活動のためには資金が必要となってきます。特に人材の確保に関して。

中越地震の場合、現在では復興基金がこの活動を支えておりますが、当初は民間の資金が支えておりました。具体的には、日本青年会議所から寄付 2,000 万円をいただきました。

この資金がなければ、今の中越の復興の活発な活動はなかったと思ひます。ということから、このような資金ニーズが今回の被災地でも必ずあると思ひます。

また、今回はかなり広域な被災地となりますので、中間支援組織がひとつでは足りません。県単位で、あるいは大きな被害の被災地では市町村単位でこのような組織が必要になるかも知れません。

ということでロータリークラブで集まった資金は、ただ義援金として手渡すことより、このような活動を支える資金として使用したらいかがでしょうか。何倍もの効果が見込まれると確信いたします。加えて、中越にはノウハウと人材がおります。資金を渡すだけでなく、この人材を使つてのアドバイザー派遣も可能だと思ひます。

「資金+人材・ノウハウ」支援という被災地に有効でかつ特徴的な支援が可能になるのではと思ひています。



震災特集

ガバナー会への提言-4

RI第2680地区

パストガバナー 田中 毅

阪神・淡路大震災復興事業報告書

当地区を直撃した阪神・淡路大震災から、はや 16 年が過ぎました。その被害は淡路島、神戸市、阪神全域に及び、死者 6,434 名、負傷者 43,792 名、家屋全壊 104,906 戸、半壊 144,274 戸、被害総額 10 兆円という未曾有の大惨事となりました。

震災直後から、国内はもとより全世界のロータリアンの皆さまから暖かいご支援を賜りましたことを心から感謝しつつ、地区内全会員が一丸となって復旧から復興に向かって努力いたしました。

鉄道、港湾、幹線道路、公共の建物などは修復が終わって、昔日の面影を取り戻したものの、10 数年経った今ですら、いったん幹線道路を離れると未だににちこちで更地や、臨時の駐車場が残っているのが現実の姿です。

全世界のロータリアンからご寄贈いただいた義援金を有効に活用するために、直ちに地区震災復興委員会を組織し、クラブ・レベルの震災復興事業と連携しながら、一連の事業を進めて、最終的な事業に備えていた約 2 億 3 千万円を、震災に関連した青少年事業に投入して、2001 年 6 月末をもって、震災復興事業をすべて終了しました。

2011 年 3 月 11 日、突如として三陸沖を震源とする巨大地震が東日本を襲いました。現時点においてはロータリアン自身が被災者であり、復旧活動がままならないと思いますが、間もなく世界中から義援金やボランティアが集まって、復旧復興活動が活発化するものと思われます。

復興活動には 10 年以上の月日がかかります。何から手をつければいいのか分からない初期の活動から徐々に被災地の真のニーズが見え始めます。それを機にロータリアンは奉仕活動の実践をしなければなりません。

1997 年 8 月発行の「ロータリーの友」に 1997 年度末にまとめた事業報告書が掲載されていますが、その後の地区震災復興委員会の収支報告と活動報告およびクラブの震災復旧・復興活動報告をまとめ直してみました。何かの参考になれば幸いです。

阪神淡路大震災復旧・復興活動報告(参考資料)

地区レベルの震災復旧・復興事業

震災直後の活動

ミルク、水、生活に必要な物資の配布。

それぞれの職業を通じた奉仕活動・・・医師による死亡診断書作成、応急診療所への出務。

ロータリークラブの活動は不可能に近い。ロータリアン個人の行政への協力に留まる。

ロータリー子どもの家 1995 年から現在まで

神戸市中央区内の真生塾の敷地内に、ロータリアン、ローターアクター、インターアクター等の勤労奉仕によって建設した施設です。当初は震災で親を亡くした子どもの収容施設として設立されましたが、その後、被災地域の仮設住宅居住者や児童を対象に様々な事業が、ロータリアン、ローターアクター、インターアクター、専従スタッフ、その他多くのボランティアによって実施されています。

子どもの家を中心にした被災者(児童)支援の主な活動として、メンタル・ヘルス・ケアを中心とする治療的プログラム、ボランティア指導者養成プログラム、広報啓蒙活動などの他に、被災児童によるミュージカル「レミゼラブル」の上演、楽団の演奏指導、木工教室、自由遊び、いもほり大作戦、ワイワイまつり、もちつき、もみの木のひろばの諸活動、ロータリー少年少女キャンプへの派遣、高知県室戸岬へのキャンプ、サッカー観戦、映画鑑賞「金色のクジラ」、木下大サーカス見学、モンゴル草原自転車ツアー、被災家庭へのボランティア派遣、七草摘みと七草粥バスツアー、みんなおいでよ! 春まつり、東条義子さんのお話会、お絵かき会、大倉山仮設住宅地域との交流、不登校児童のフリースペース、不登校児を持つ親のためのカウンセリング、音楽劇「美男におわす八尾地蔵」の練習と公演、貝をいっぱい採ろう会、子どもの家設置などの広範な活動を実施しています。

なお、キンロス RI 会長夫妻、ブラウン元 RI 会長夫妻、ジアイ元 RI 会長夫妻、カパラス元 RI 会長を始め、多くの方々がこの施設を見学されました。なお活動が長期化するため、その活動資金として、一定金額を内部留保しています。

教育プログラム

- ・木工教室 毎月 1 回 ・お話の会 毎月 1 回 ・あおぞら色彩学園 毎月 1 回 ・うたっ子クラブ 毎月 2 回
- ・ことばとコミュニケーションのプログラム ・学習会 音楽療法(リトミック) ・プレイセラピー
- ・中高年のアトリエ ・GFS手芸クラブ

野外活動

- ・川で遊ぼう ・木の実で遊ぼう ・早春を遊ぼう ・スプリングキャンプ ・春の野草を摘もう
- ・秋のキャンプ ・雪遊び ・きのこ狩り ・クリスマスキャンプ ・ファミリーキャンプ ・海遊び

心の解放のプログラム

- ・あおぞら色彩楽園 ・もみの木ひろば(復興住宅支援プログラム)

母親支援プログラム

- ・ おかあさんいきいきプログラム ・ 子育て元気アッププログラム ・ 子育てストレスホットライン
- ・ 親と子のふれあい講座 毎月 2 回 ・ 子育て元気アップ講座
- ・ 若いお母さんと 1 歳～ 3 歳の幼児のふれあい講座

ロータリー・フレンドシップ・ハウス(留学生の家) 1995 年～ 1997 年

震災で住居を失った留学生の収容施設として、神戸YMCAの敷地内にロータリアン、ローターアクター、インターアクター等が自ら汗を流して建設した施設です。なお、留学生以外にもボランティアやスタッフの受け入れ施設としても活用されましたが、現在は取り壊されています。

同額補助金制度 1995 年～ 1997 年

ロータリー財団の同額補助金を模して、クラブレベルで震災復興事業を行っているクラブに、地区からほぼ同額の補助金を支給する制度です。19 クラブの事業に対して約 8,600 万円の補助金を交付しました。なお、地区内の多くのクラブが、クラブの独自の財源やクラブレベルで受け取った義援金を活用して、独自の震災復興活動を実施しています。

西宮学生ボランティア交流センター

この震災において特記すべきものに、ボランティアの積極的な活動があげられます。震災時に登録された学生ボランティアのデータを、今後有効に活用するために設立されたセンターで、阪急西宮北口に事務所を設置し、インターネットを活用してボランティア情報の収集や提供、学生ボランティアの追加登録・派遣などの業務を行っています。西宮市内及び阪神間の 10 大学がこのネットワークに加盟し、西宮、西宮甲子園、西宮夙川IRCが中心になって運営に当たっています。

建築技能アカデミー 1996 年～ 2000 年

震災復興のために必要な町の建築技能者を短期間に養成する学校で、ハウズビルダー科、インテリアクラフト科、タイルブロック科、ドローイング科、CAD科などがあります。受講生には震災で失職した人、中高年の転職、再就職希望者に混じって若者の姿も目立ち、それぞれの課程を終了した大勢の技術者が、実社会で活躍中です。神戸、阪神間のロータリアンが中心になって設立、運営にあたっており、多くの会員がその職業経験を活かして講師としてボランティア活動をしています。

なお、2000 年に借用していた土地で再開発が始まったため、閉鎖されました。

震災関連青少年特別事業プログラム 1999 年～ 2001 年

各クラブからの申請に基づいて審査の上支払われた、震災に関連した青少年活動に対する補助金制度です。震災義援金の残余金をすべてこれに充て、2001 年 6 月 30 日をもって震災復興プロジェクトをすべて終了しました。

阪神淡路大震災復旧・復興活動報告(参考資料)

阪神・淡路大震災義援金収支明細書

収入の部

	95.1～95.6	95.7～96.6	96.7～97.6	97.7～98.6	98.7～99.6	99.7～00.6	00.7～01.6
ガバナー	計 馬	松 岡	田 中	松 下	谷 水	米 谷	中 嶋
国内義援金	761,649,109	20,511,457					
海外義援金	54,147,100						
そ の 他	14,413,742	4,048,616	121,364				59,680
預金利息	921,549	921,036		10,520		441,741	22,575
前年度繰越金		519,502,231	286,246,205	236,180,618	219,583,704	219,583,704	8,263,792
合 計	831,131,500	544,983,340	286,367,569	236,191,138	219,583,704	220,025,445	8,346,047

支出の部

	95.1～95.6	95.7～96.6	96.7～97.6	97.7～98.6	98.7～99.6	99.7～00.6	00.7～01.6
被災クラブ見舞金	34,000,000	2,000,000					
救援物資購入費	6,440,357						
フレンドシップハウス 子どもの家	247,081,400	100,227,983					
米山奨学生支援	2,800,000						
留学生支援金	3,300,000						
復興映画祭	6,947,000						
青少年ツアー補助	1,500,000						
がんばれ兵庫っこ	3,001,641						
復興活動費	1,795,946	462,772					
震災記録誌発行費	4,762,925						
同額補助金制度		86,046,380					
学生ボランティア 交流センター設立		70,000,000					
建築技能アカデミー 設立・運営資金			50,000,000	10,000,000			
神戸ファッション			2,000,000				
117奨学金制度				7,200,000			
震災関連 青少年事業						220,025,445	8,346,047
合 計	311,629,269	258,737,135	52,000,000	17,200,000	0	220,025,445	8,346,047

阪神淡路大震災復旧・復興活動報告(参考資料)

震災関連青少年特別事業

神戸南	慰霊と復興の モニュメントへの寄付	1,000,000	篠 山	丹波緑のボランティア部隊	7,000,000
尼崎西	ニュージーランドの 青少年との交流	2,250,100	神戸中	ロータリーボランティア 支援ハウス	6,000,000
明石北	明石海洋少年団 訓練用ヨット寄贈	4,000,000	芦屋川	芦屋ボランティア中継所	6,000,000
神戸東	兵庫県外国人学校 震災復興支援事業	1,000,000	西 脇	ロータリー子どもの森	10,000,000
淡路三原	中国大連市中山区野球スポーツ 少年団との青少年交流事業	500,000	姫路南	わんぱくちびっこ情報団	10,000,000
神戸東灘	トルコ北西部地震緊急救援委員会 による救援チームへの支援	1,000,000	神戸ハーバー	日台親善青少年野球大会	1,000,000
尼崎北	僕たちの意見	2,000,000	淡路北	ジャパンフローラ博に 車椅子を寄贈	4,000,000
生 野	生野ロータリーカップ	3,000,000	南淡路	志知高校郷土芸能 ダンジリ唄道具支援	6,600,000
赤 穂	ボーイスカウト海外交流事業	2,000,000	浜 坂	浜坂高校獅子サークル 獅子舞用具一式	5,200,000
柏 原	柏原高校IAC海外交流 短期研修事業	1,000,000	神戸西	子供の虐待防止 プロジェクト企画	8,257,370
洲 本	絵画交流でヌーサオーストラリアの 子らと友達になろう	700,000	相 生	ペーロン太鼓	2,352,000
伊 丹	伊丹市の青少年 音楽教育の振興	3,000,000	姫 路	ゆりの木国際市民センター	10,000,000
芦 屋	インターネット情報技術教室	5,302,100	高砂青松	自閉症施設あかりの家へ 送迎バス寄贈	1,600,000
伊丹昆陽池	21世紀の森	5,000,000	上 郡	中学生による はたる飼育の援助	1,000,000
神戸西神	発育遅延の育児の 早期治療とケア	8,664,000	三田南	シドニーパラリンピック支援	2,600,000
小 野	小野・加東発 青少年緑の協力隊	5,000,000	宝塚武庫川	L D児講座冊子発行	1,500,000
神 戸	あぶあぶあニューヨーク 公演支援	6,000,000	加古川	がんばれ少年少女 クルージング	4,400,000
北 条	かさい夢っ子の家	8,480,000	神戸垂水	マリアナ諸島への見学交流	2,100,000
神戸六甲	震災孤児癒しの家あしなが育英会 レインボーハウス支援事業	1,000,000	あわじ緑	緑町青少年育成活動 支援事業	2,100,000
尼 崎	尼崎市内青少年の 国際交流研修	3,850,000	津 名	津名カブスカウト隊 再発足支援事業	1,000,000
姫路東	インターネットによる青少年の 国際交流と国際親善	6,000,000	神 崎	地域と自然に学ぶ ロータリー学校	2,300,000
西 宮	タイムカプセル計画	2,500,000	西宮夙川	ふれあいときめき チャレンジ事業	2,500,000
豊 岡	コウノトリとともに心豊かな 青少年を育てよう	5,000,000	加古川平成	青少年におけるボランティア活動の 推進と介護技術習得講座開設	6,000,000
2680地区	ロータリー子どもの家 移転支援金	6,844,367			

阪神淡路大震災復旧・復興活動報告(参考資料)

クラブレベルの震災復旧・復興事業

明石北	明石救援対策本部へ義援金	神戸有馬	西宮北インターチェンジ周辺を清掃、被災転入学児童・生徒205名の就学激励、神戸北高校生の社会奉仕活動支援へ援助金、地域内小学校児童(7校、7000人)に給食援助、神戸キリスト教会と須磨小学校の避難所に簡易浴場設置
神戸垂水	神戸市民生局へ子供用運動靴3000足、高校生や留学生の援護活動	川西猪名川	川西市対策本部へ義援金、家屋全壊会員に見舞金
南 淡	西宮、甲子園、津名、淡路北各RCへ見舞金	淡路三原	あわじ緑、南淡RCとともに飲料水を淡路北被災地へ
豊 岡	読売新聞社へ義援金	津 名	管内の仮設住宅入居高齢者120人を大鳴門橋記念館、淡路人形浄瑠璃館など日帰り旅行に招待。受領義援金を一宮町へ
加古川平成	米山奨学生へ見舞金、靴下1万足を被災者へ、神戸市内の避難所で食事炊き出し	明 石	受領見舞金にクラブの300万円を加え計500万円を県立看護大学へ活動助成金として贈呈
西 宮	西宮ボランティアネットワーク支援へ援助金、市の復興記念植樹祭に協力	柏 原	丹波県民局へ義援金、県立丹波文化会館へ生活用品提供、柏原高校IACのボランティア活動支援など
明石西	毎例会時に1人300円拠出、受領見舞金と合わせ計380万円を基金として3年継続事業で被災青少年のケアなど実施	神戸東	神戸少年の家、神戸市立友生養護学校、同青陽東養護学校へ援助金、堺泉北RCの協力で王子スポーツセンターなど4避難所で食事炊き出し
三田南	三田市災害対策本部へ義援金、市内のボランティアグループに活動援助金	尼崎東	受領見舞金を地区ガバナー事務所へ
姫 路	神戸新聞厚生事業団、NHKへ義援金、神戸RCへ見舞金	神戸西	長田区の障害者仮設作業所へエアコン贈呈
明石南	神戸新聞厚生事業団へ義援金	三木みどり	芦屋在住会員に小型バイク配布
加古川中央	兵庫女子短大IACの救援活動支援	香 住	神戸・北野小の避難所へ紙オムツ、懐中電灯など贈る
洲 本	淡路RAC救援活動支援	豊 岡	読売新聞社へ義援金
川 西	川西市災害対策本部へ義援金	姫路南	神戸新聞厚生事業団へ義援金
高 砂	日赤兵庫支部へ義援金、野々村会員3台の自家製風呂を約100日間避難所に設置(延べ3000人利用)	高砂青松	神戸新聞厚生事業団へ義援金
西宮風川	香炉園、夙川、北夙川、大社、安井、浜脇各小学校、おおば福祉会に見舞金、ボーイスカウトへ活動援助金	神戸ベイ	ベイシェラトンホテル営業再開コンサート支援、鈴鹿ベイRCとともに生活資材提供、神戸東灘RCとともに六甲アイランド復興フェスティバル支援
神戸須磨北	避難所で「ロータリー何でも相談コーナー」開設、啓明女学院IAC、多井畑フットボールクラブ、須磨区剣道協会、少年野球神戸須磨クラブへ援助金、須磨署へパトカー1台	神戸東灘	東灘区社会福祉協議会へ大阪・堺RCと共同で高齢者輸送用ワゴン車贈呈、避難所へ1-3月中トイレ用水運搬、避難所巡回の緊急医療隊編成、四国から飲料水運び入れる
宝塚3RC合同	宝塚市福祉専用仮設住宅へ大型テレビ3台寄贈、ボランティアグループに活動費援助、宝塚少年少女合唱団の復興祈念演奏会支援	芦 屋	芦屋市役所へ義援金、芦屋大付属幼稚園児が描いた大地震のクレヨン画をまとめた絵本「ぐらぐらぐらつ」を大阪北RCとともに出版、円、いいな(1.17)奨学金設立
伊丹昆陽池	伊丹市へ義援金	神戸西神	神戸市西区役所へ義援金、神戸西署へパトカー1台寄付、ボーイスカウトに給食材料費助成
神戸北	京都洛西RCとともに被災留学生5人に見舞金	篠 山	日赤兵庫支部へ義援金、阪神第二分区分及び友好クラブ(10クラブ)へ見舞金、飲料水などを神戸へ
神戸南	大震災義援金箱設置、会員被災状況報告書作成、年度後半会費減額	三 田	芦屋、西宮へ飲料水搬送、神戸市内の避難所に握り飯提供
赤 穂	神戸市内の避難所でボーイスカウトとともに食事炊き出し	芦屋川	二田谷治療教育院へ助成金、足長おじさんプロジェクト支援へ援助金、「心の広場」事業計画書



震災特集

ニュージーランド義援金報告書

2011年2月22日、ニュージーランド第9970地区内のクライストチャーチ付近で発生した地震の被害に対する義援金は、最終 41RC 1,372,978 円となりました。

早速復興支援に役立てていただくよう、ニュージーランド及び太平洋諸島のロータリクラブからなる Rotary New Zealand Community Service (RNZWCS Limited) 義援金受付口座へ送金いたしましたのでご報告させていただきます。義援金の趣旨に対しご賛同、ご協力いただきました会員の皆さまに心から御礼申し上げます。

クラブ名	ニュージーランド義援金額	参加人数	入金日
前 橋	70,000	106	3/17
前 橋 西	36,520		3/30
前 橋 東	30,000	64	3/24
前 橋 北	59,000	59	3/8
前 橋 南	23,000	23	3/28
前 橋 中 央	30,850	33	3/24
桐 生	30,000	66	4/7
桐 生 南	27,000	27	3/29
桐 生 西	39,208	35	3/31
桐 生 中 央	25,000	25	3/31
桐 生 赤 城	30,000	42	3/29
伊 勢 崎	73,000	73	3/31
伊勢崎中央	30,000		4/5
伊 勢 崎 南	15,800	31	3/10
伊 勢 崎 東	30,000		4/11
高 崎	66,000	66	4/7
高 崎 南	70,000		3/3
高 崎 北	70,000	65	3/24
高 崎 東	50,000	39	3/9
高崎シンフォニー	29,000		3/28
高崎セントラル	30,000	33	3/24

クラブ名	ニュージーランド義援金額	参加人数	入金日
太 田	50,000	70	3/29
太 田 西	10,000	26	3/9
太 田 中 央	7,000	6	4/4
館 林	30,000	50	3/9
大 泉	30,000		3/29
館 林 西	20,000	18	3/23
館 林 東	23,600	20	3/4
館林ミレニアム	30,000	23	3/7
渋 川	38,000	48	3/10
草 津	23,000	23	3/18
沼 田 中 央	58,000	58	3/10
渋川みどり	22,000		3/24
富 岡	10,000		3/24
藤 岡	49,000	49	3/9
安 中	26,000	26	3/4
藤 岡 北	20,000	17	3/18
富 岡 中 央	10,000	40	3/22
碓氷安中	15,000		3/24
藤 岡 南	15,000	15	3/9
富岡かぶら	22,000	22	3/23
合 計 金 額	1,372,978	1298	



震災特集

東日本大震災義援金報告書

2011年4月20日現在

ク ラ ブ 名	東日本大震災義援金額	参加人数	備 考	姉妹クラブ名	東日本大震災義援金額
前 橋	1,060,000	106			
前 橋 西	1,280,520	51			
前 橋 東	1,215,000	64			
前 橋 北	590,000	59			
前 橋 南	320,000	32			
前 橋 中 央	660,000	33			
桐 生					
桐 生 南					
桐 生 西	420,000	42		釜山新西面	69,887
桐 生 中 央					
桐 生 赤 城					
伊 勢 崎					
群 馬 境					
伊勢崎中央					
伊勢崎南					
伊勢崎東					
高 崎	660,000	66			
高 崎 南	500,000	50			
高 崎 北	2,740,000	63			
高 崎 東	500,000	38			
高崎シンフォニー	400,000	40			
高崎セントラル					
太 田	700,000	70			
太 田 西					
太 田 南	460,000	46			
新 田	260,000	26			
太 田 中 央	130,000				
館 林	500,000	50			
大 泉	330,000	33		マ ニ ラ	146,857
館 林 西	180,000	18			
館 林 東	250,000	24			
館林ミレニアム	310,000	22			
渋 川	1,000,000	60			
沼 田	560,000	56			
草 津	230,000	23			
み な か み					
中 之 条	20,000				
沼 田 中 央	550,000				
渋川みどり					
富 岡					
藤 岡	490,000	49			
安 中	300,000	28			
藤 岡 北	220,000	15			
富 岡 中 央	400,000	40			
碓氷安中	120,000				
藤 岡 南	180,000	18			
富岡かぶら	280,000	28			
合 計 金 額	17,815,000	1250		合 計 金 額	216,744
総 合 計 金 額					18,031,744



震災特集

東日本大震災と青少年交換

国際ロータリー第2840地区

 青少年交換委員会
 委員長 峰岸 則幸

このたびの東日本で発生した震災により、被害を受けられたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

【経緯】

- 3月11日：14：46分 東日本に大地震発生 14m以上の大津波発生
- 3月12日：15：36分 福島第一原発1号機 水素爆発が発生
- 3月12日： 全国34地区委員長へインバウンドの学生の安否確認後、交換パートナー先地区に至急知らせる旨指示有り
- 3月13日： 当地区に於いても、オレゴン・ニューヨーク・ミネソタ・ネブラスカ各委員長へメール及び電話にて学生の無事を知らせる。
- 3月14日： 交換パートナー先地区よりインバウンド学生の帰国については私、委員長の判断にお任せいたしますとの事でした。
- 3月14日：11：01分 福島第一原発3号機 水素爆発が発生
- 3月15日：06：10分 福島第一原発2号機・4号機で爆発音
- 3月15日： 当地区危機管理委員会と青少年交換委員会の合同緊急会議を福田ガバナー、安藤ガバナーエレクト同席の元、開催いたしました。結果はインバウンド学生4名全ての帰国を決定し、又、交換パートナー先地区委員長へその旨会議結果をメールにて知らせました。又、インバウンド学生には突然の帰国と云う事で心のケアを竹澤先生にお願いし解決する。
- 3月16日： インバウンド学生の移動を早期に行うため、成田ポートホテルに滞在させるべく手配、東京～成田間の電車は30%運行。
成田到着とチケットの手配完了を聞き、些細ではあるが、さよならパーティーを行った。

- 3 月 17 日 : インバウンド学生、Galen・Joshua・Amber の 3 名の帰国。
- Taber はチケットが取れず 3 月 19 日に帰国となり成田ポートホテルに滞在する事になった。世界各国政府が自国民に対して、日本への旅行を延期するよう通告するなどの措置をとっているため RI も正式声明発表の要請を受けました。日本のロータリアンが救援活動に集中し、一日も早い復興を望めるよう、RI は現時点で日本に滞在している全ての学生の帰国を推奨いたします。学生とその家族が日本滞在を継続して希望する場合は、学生の両親・保護者、受入地区と派遣地区とが滞在を認める旨を記した書簡を提出する必要があります。以上、声明文が出された。
- 3 月 19 日 : インバウンド学生 Taber 帰国
- 3 月 26 日 : 当地区青少年交換委員会を開催、次年度、派遣学生の対応について安藤ガバナーエレクト同席の元 One-Way か中止かの検討するか学生の年令が 16 才と云う事もあり、次々年度(2012 ～ 2013 年度)派遣でも可能である事を踏まえ次年度は中止とする。福島第一原発事故の長期化、計画停電、野菜の放射能汚染、アメリカの渡航禁止地区の中に群馬県も入っている、と云う事で、これから先、青少年交換が継続出来るか否か委員会としても苦慮する所です。
- 4 月 2 日 : 安藤ガバナー年度、ガバナー補佐委員長合同会議にて、次年度青少年交換について、中止の意向と 4 月 10 日に全国青少年交換委員長会議が緊急招集されているので 34 地区での決定事項に依っては再度検討したい旨、了承を得る。
- 4 月 10 日 : 全国青少年交換委員長会議が大阪にて緊急招集された。事前のアンケートをもとに、各地区の発表が行われた。回答は 34 地区中 19 地区でしたが、交換が(できる)(できない)(わからない)の中で当地区のみ(できない)の回答でた。他地区、特に被災地区の委員長が是非とも継続したいとの発表に拍手喝采でした。私としては、複雑な気持ちでした。
- 34 地区青少年交換委員長、確認事項として、以下の 4 項目を採決しました。
- 2011-12 年度青少年交換プログラムは日本において行う。

●Two-way では無理な地区もあるので、日本からの交換学生を one-way でも受けてもらえたらありがたいので、世界の交換相手地区へお願いする。

●日本には安全な地区もあるので、来日学生を日本 34 地区の協力で安全な地区でホストするようにする。

●もし、また新たに危険な状況が発生したときは、速やかに来日学生をより安全な地区へ移動させる。そして、本国のご両親の早期帰国の要望があったときは、速やかに帰国させるようにする。

4 月 11 日： 当地区青少年交換委員会開催し、4 月 10 日の全国青少年交換委員長会議の 4 項目採決について当地区の対応にて協議し、One-Way で出来るのであれば実施する。然し、受入の学生も決まっているため、変則 Two-Way になるので、当地区に受入すべく学生 4 名の受入地区を探す事になる。

4 月 12 日： アメリカの各委員長へ次年度の交換は変則 Two-Way でお願いしたい旨伝えた所、快い返事をいただいた。派遣は 4 名全て、出来る事になりました。受入に関しては、オレゴン・ニューヨークは北海道D2510の渡辺委員長にお願いし、ミネソタは長崎D2740の中村パスト会長と親交があり、快くお引き受けしていただいた。ネブラスカはSteve委員長が広島・山口D2710 灘岡委員長との話し合いをしています。これで 4 名全て変則 Two-Way が成立しました。経費負担については今後、話し合われるものと思います。

以上、東日本大震災と青少年交換の経緯について、ご報告申し上げます。今後の対応につきましては誰も予測がつかせませんが、少なくとも第一原発から 200km しか離れていけませんので原発事故の収束を見ない限り学生を受け入れる事は不可能な事です。次年度については日本 34 地区と全世界の地区の心よりの配慮に依って成立いたしました、次々年度以降も One-Way と云う事になると再度検討しなければと思います。

一日も早い福島第一原発事故の収束を願い、正常な青少年交換に向けて努力したいと思いますので宜しくお願いいたします。



前橋プロバスクラブ

楽しい民謡音楽会のご案内

前橋プロバスクラブ
会長 小林 茂利

前橋プロバスクラブでは、例年 5 月の定例会を公開音楽会として開催し、市民の皆様方にお楽しみいただいております。本年も下記のとおり企画し、実施することになりました。

ロータリークラブ会員の皆様方にもご鑑賞いただきたくご案内申し上げます。

民謡・尺八の鈴雲会と子雲雀会が唄う民謡コンサート

日時：平成 23 年 5 月 21 日(土) 開場 10:15 開演 10:30

場所：前橋市総合教育プラザ内 第 3 コミュニティセンター 多目的ホール

前橋市岩神町 3-1-1 TEL 027-230-9097

プログラム：

第 1 部 子雲雀会の子供たちによる民謡

・草津湯もみ唄 ・秋田人形甚句 ・最上川舟歌 ・イヤサカ音頭 他

第 2 部 尺八演奏

・尺八による叙情歌 ・五木の子守唄 ・名月赤城山 他

第 3 部 日本の民謡

・新相馬節 ・米山甚句 ・喜代節 ・山寺石切唄 他

出演：鈴雲会と子雲雀会(会主 鈴木 鈴雲)

主催：前橋プロバスクラブ(会長 小林 茂利) 事務局 TEL 027-233-6866

楽しい民謡音楽会 入場整理券



楽しい民謡音楽会 入場整理券

平成 23 年 5 月 21 日(土)

開場 10:15
開演 10:30

平成 23 年 5 月 21 日(土) 10:15 開場 10:30 開演

会場：前橋市総合教育プラザ内 第 3 コミュニティセンター 多目的ホール

主催：前橋プロバスクラブ

会員だより 新入会員紹介



新会員名 中里 幸夫
 クラブ 前橋RC
 入会日 2011年3月15日
 職業分類 旅行業
 勤務先 株JTB関東法人営業群馬支店
 役 職 支店長
 推薦者 塚越 勝美



新会員名 清水 雅弘
 クラブ 前橋RC
 入会日 2011年3月15日
 職業分類 生花販売
 勤務先 株式会社フラワーやない
 役 職 専務取締役
 推薦者 藤野 隆司



新会員名 黒田 泰司
 クラブ 高崎南RC
 入会日 2011年4月12日
 職業分類 金融業
 勤務先 高崎信用金庫 南支店
 役 職 支店長
 推薦者 田島 五郎 六角 敏三



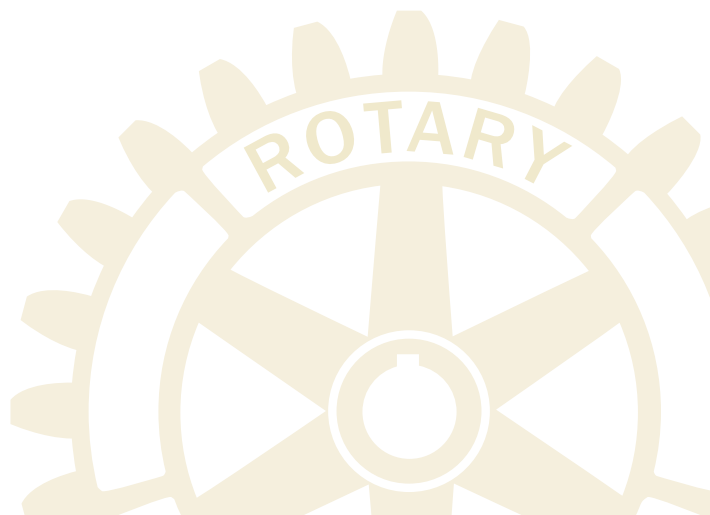
新会員名 清水 正朗
 クラブ 高崎南RC
 入会日 2011年4月12日
 職業分類 情報サービス業
 勤務先 美山観光バス株式会社
 役 職 代表取締役
 推薦者 串田 紀之 関口 啓子

会員だより 訃報

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります

関口 隆 会員
 前橋西ロータリークラブ
 関口整形外科病院 理事長
 2011年4月20日逝去 享年84歳

1964年11月27日入会
 1993-94 クラブ会長
 2000-01 地区ガバナー
 マルチプルポールハリスフェロー4
 第7回米山功労者





第2840地区 2010-2011年度

地区主要三ヶ月行事一覧

開催日		項目	場所
2011年	5月	7日(土)	ロータリー財団国際親善奨学生オリエンテーション
		21日(土)～ 25日(水)	RI 国際大会
	6月	4日(土)	米山記念奨学会・学友会総会
		25日(土)	第五回ガバナー諮問委員会・新旧地区役員連絡会議



第2840地区 2011-2012年度

安藤年度 主要行事一覧

開催日		項目	場所
2011年	5月	未 定	米山記念奨学委員会
		14日(土)	地区協議会
		21日(日)～ 25日(水)	RI 国際大会
	6月	11日(土)	ローターアクト地区協議会 地区指導者研修会
		12日(日)	第二回ガバナー補佐会議 地区会員増強セミナー



ロータリー文庫

文庫通信(283号)

「ロータリー文庫」は、日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料より

「ロータリーへの道〔三訂版〕」

ポール・ハリス著 柴田 實訳 成田RC 2011 372P[申込先:成田RC FAX(0476)33-8786]

「ロータリーの日常の知識」

三木 明訳 2010 83P(A Talking Knowledge of Rotary)[申込先:三木 明 FAX(079)223-2477]

「決議23-34について」

山崎 勝 2010 32P (D.2720ガバナー月信総集編)[申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

「職業奉仕の目ざす所」

勝野 露観 2010 12P(職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)[申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

「ロータリアンの職業宣言について考えること『職業奉仕の現在的意義』」

北岡 満 2010 4P(職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)[申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

「『四つのテスト』の解釈について」

辻林 俊彦 2010 2P(職業奉仕その心と今日的役割/D.2640)[申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

「ロータリー入門書2010~2011年度版」

前原 勝樹・重田 政信 2010 197P[申込先:北斗事業出版 TEL(03)5207-6681]

「ロータリークラブ 簡単図解」

鈴木 章夫 2011 12P(D.2520)[申込先:ロータリー文庫]

「カンボジア・ベトナム海外研修」

柏木 希予 2010 1P(D.2650インターアクト海外研修報告)[申込先:ロータリー文庫(コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL:03-3433-6456 FAX:03-3459-7506

URL:<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館:午前10時~午後5時/休館:土・日・祝祭日



第2840地区

3月 出席報告

クラブ数	会 員 数				
	月 初	月 末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1970	1972	2	79	81.26

クラブ名		例会数	出席率 (%)	会 員 数			
				月 初	月 末	増減	女性
第1分区	前橋	4	80.91	106	106	0	4
	前橋西	4	80.35	58	58	0	6
	前橋東	4	87.24	64	64	0	3
	前橋北	3	84.31	59	59	0	6
	前橋南	4	82.82	32	32	0	1
	前橋中央	3	70.53	32	33	1	6
	合 計		81.03	351	352	1	26
第2分区A	桐生	2	78.02	66	66	0	0
	桐生南	2	78.85	27	27	0	0
	桐生西	4	89.21	50	50	0	0
	桐生中央	3	77.33	25	25	0	3
	桐生赤城	5	81.67	42	42	0	5
	合 計		81.02	210	210	0	8
第2分区B	伊勢崎	4	94.00	72	73	1	0
	群馬境	5	83.75	34	34	0	1
	伊勢崎中央	3	81.18	63	64	1	1
	伊勢崎南	4	69.36	31	31	0	1
	伊勢崎東	3	82.79	31	31	0	2
	合 計		82.22	231	233	2	5
第3分区	高崎	1	80.60	67	67	0	0
	高崎南	2	81.25	64	64	0	4
	高崎北	3	81.56	65	65	0	0
	高崎東	4	76.35	38	38	0	1
	高崎シンフォニー	2	84.21	40	40	0	3
	高崎セントラル	3	74.23	33	32	-1	0
	合 計		79.70	307	306	-1	8

クラブ名		例会数	出席率 (%)	会 員 数			
				月 初	月 末	増減	女性
第4 分区 A	太田	3	88.57	67	69	2	2
	太田西	4	80.41	26	25	-1	2
	太田南	4	84.14	46	46	0	0
	新田	4	84.82	27	27	0	0
	太田中央	3	72.22	42	42	0	1
	合 計		82.03	208	209	1	5
第4 分区 B	館林	2	84.00	50	50	0	0
	大泉	3	81.19	33	33	0	5
	館林西	5	91.77	18	18	0	0
	館林東	5	86.04	25	25	0	2
	館林ミレニアム	4	81.32	23	23	0	0
	合 計		84.86	149	149	0	7
第5 分区	渋川	2	92.73	60	57	-3	2
	沼田	4	76.23	56	57	1	0
	草津	4	72.50	23	23	0	2
	みなかみ	4	80.00	7	7	0	0
	中之条	4	94.74	25	25	0	1
	沼田中央	5	81.66	58	57	-1	0
	渋川みどり	4	78.45	42	42	0	2
	合 計		82.33	271	268	-3	7
第6 分区	富岡	4	81.70	49	49	0	4
	藤岡	4	82.66	49	49	0	2
	安中	3	75.95	26	28	2	0
	藤岡北	5	84.39	17	17	0	2
	富岡中央	4	84.21	42	42	0	1
	碓氷安中	4	73.33	15	15	0	2
	藤岡南	4	72.06	17	17	0	2
	富岡かぶら	3	73.81	28	28	0	0
	合 計		78.51	243	245	2	13